

報道関係各位 2024年10月30日

# 日本各地の伝統美 国産にこだわった漆塗り万年筆シリーズ 第五弾!

# 『伝統漆芸 麗 石川 創作春慶加賀塗万年筆』 『伝統漆芸 麗 長野 創作春慶木曽塗万年筆』

2024年11月9日(土) 発売

セーラー万年筆(社長:町克哉、本社:東京都港区)は、「伝統漆芸 麗」シリーズ第五弾として、日本各地の伝統美を活かした 2種の漆塗り万年筆を 2024 年 11 月 9 日 (土) より全国のセーラー万年筆製品取扱販売店にて発売いたします。

# ■伝統漆芸 麗

伝統漆芸 麗 は、「漆」を塗り上げ装飾する伝統漆芸を用いた筆記具のシリーズです。2019 年 6 月、シリーズの第一弾として、「輪島 曙塗」、「輪島 溜塗」、「津軽 錆塗」を発売しました。その後第二弾は 2021 年 10 月、「岩手 樹水塗」、「青森 流紋塗」、「石川 創作加賀塗」の3 種を発売。第三弾は 2022 年 12 月、「福井 創作若狭塗」、「青森 八戸塗」の 2 種を、第四弾では「青森 風雅 文塗」の発売と続き、第五弾となる今回は「石川 創作春慶加賀塗」、「長野 創作春慶木曽塗」の 2 種を追加いたします。

### ●シリーズ名「麗(れい)」について

漆塗りの調度品(漆器)の価値は奈良・平安時代、貴族社会の富の象徴、神仏世界具現の麗美なものとして確立したとされています。 漆の語源とも云われる「麗(うるわし)」は、この上もなく美しいものを意味する言葉で、日本の美の概念が芽生え栄えたその時代 ゆえ「漆」に「うるわしさ」を与える言葉として漆に繋がっていったのは自然なことだともいえます。

日本の伝統の美しさや奥深さ、人に潤いと感動を与えるものとして、ペン軸始め付属の一本袋や桐箱に名高い真田紐と拘り、すべて国産を意識し、伝統漆芸「麗」シリーズと名付けました。

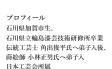
### [石川 創作春慶加賀塗]

加賀塗は、漆産地で名のある石川県加賀市の山中漆器の特性である優美さをもつ漆技法です。漆芸で栄えた山中地域は、様々な漆工芸の研究が進み、漆の変わり塗り技術の進化は目にみはるものがあります。変わり塗りの中でも、漆の重ね塗りで文様を創り出し、さらにその上に漆を塗って研ぎ出す技法は創作春慶塗として完成されました。下地となる漆の重ね塗りは、漆の濃薄や漆塗りの刷毛目の細太などの筆具合によって表情が変化するため、作家の感性によって様々な漆芸品が生み出されています。

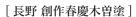


当製品に施されている創作春慶加賀塗は、加賀市在住の三十年以上漆芸に携わっている作家、小林已眞(小林正俊)氏の作品です。 自然が育む静謐な流れや人の感情の豊かさに思いをはせた文様を現し、透明感のある奥ゆかしく優麗な漆芸は類を見ないものとなっています。漆芸家として長きに渡って漆に携わってきた小林氏の集大成といえるもので、下地となる漆の重ね塗りによる無数の表情を研鑽研究してきた作家ゆえ出来上がった作品となります。

### 創作漆芸作家 小林 已真 作 [こぼやしいさな (小林正後)



2007年 小林漆芸工房 代表 カナダやバンタールーにで作品展示 カナダ・ケベック博覧会にで作品展示及び蒔絵実演 ニューヨークにて蒔絵装飾バネルを展示 2007年 外務省製請によりドミニカ共和国 フェルナンデス大統領へ開号品の寄贈



木曽漆器は、長野県塩尻市の宿場町の一つ、木 曽平沢周辺で17世紀初頭より培われてきた伝 統漆芸です。豊かな森林資源と漆器に適した 湿潤な気候が育んだ中山道の街道文化であ り、そこから産業として発展し、江戸時代中期 頃からは木曽物といえば平沢の木曽漆器のこ とをいうほど全国に広まりました。木曽平沢は、 中山道筋の南北に細長く多くの工房や店舗が 軒を連ね、漆工を行う街並みを形成しました。 平成18年には建造物が立ち並ぶ街並みが「漆 工町」として「重要伝統建造物郡保存地区」に 認定されました。木曽塗は、有名な木曽春慶、木 曽堆朱に代表されるように漆の重ね塗りに特 性があります。



当製品に施されている創作春慶木曽塗は、木曽漆芸家の岩原裕右氏が木曽堆朱に創意工夫を重ねて生み出したものです。何度も重ね塗りをして仕上げる木曽堆朱で下地を仕上げ、春慶塗の特徴といえる下地を浮き出させる手法を用いて創造性を高めながら、創作春慶塗を生み出しました。感性豊かで味わい深い風合いをもつ、優美で優れた漆芸品となっています。

# 創作漆芸作家 岩原 裕右 作 [wblib ゅうすけ]



プロフィール

1978 年 長野県塩尻市生れ 漆芸家の家系に生まれ幼少より漆工を学ぶ 高校卒業後、皮革細工、シルバーアクセサリー、金属加工、溶 接工など様々なものづくりの仕事を経験し、本格的に伝統工 芸士の父に弟子入りし指導をうける。

2012年 未空うるし工芸を設立 2014年 既成にとらわれない新たな漆芸品のブランド 「IaCHRO」を立ち上げる

2015 年 皮革に漆を塗る手法を編み出し、漆塗りレザー 「JaCHRO Leather」という新商品を開発、販売を開始。 2016 年 信州ブランド 2016 にて JaCHRO が選出される 2018 年 第 55 回全国漆器店にて、漆塗りエレキギター、エ レキベースが審査員特別賞を受賞する 以降、様々な漆塗皮革製品を始め、今までにない新たな漆芸 品を生み出している。

### 21 金 大型ペン先とエボナイトボディ



万年筆は、しなやかな書き心地に定評のある 21 金大型ペン先、軸にはインクの耐食性に優れ、堅牢で狂いが少なく、使い込むほどにしっとりとした感触の心地良さが感じられる「エボナイト材」を使用しています。

### 一本袋



ー本袋は、着物をほどいた生地を裁断し、一つ一つ手作りで仕上げております。着物からとった上質な正絹の手ざわりは心地良く、すす竹から手作業で削り出して作った爪も相まって、万年筆の収納に適した仕上がりです。 ※色、柄は一つ一つ異なります。

#### 桐箱





桐箱は漆製品の保管に最も適した素材と言われており、 木目が細かく高品質な国産桐を使用しております。 結紐には千利休も茶道の道具箱に愛用したといわれる伸 びにくく丈夫な真田紐を使用しております。

## 【製品スペック】

そうさくしゅんけい かが ぬり

品名:伝統漆芸 麗 石川 創作春慶加賀塗万年筆希望小売価格:165,000円(本体価格 150,000円)

ペン先:21金、中字、大型

蓋・胴:エボナイト材、石川創作春慶加賀塗

大先: PMMA樹脂/ブラック

本体サイズ:  $\phi$ 17×151mm、30.9g

パッケージ: 専用桐箱 (156×201×49mm)

そうさくしゅんけい きそ ぬり

品名:伝統漆芸 麗 長野 創作春慶木曽塗万年筆

希望小売価格: 165,000 円 (本体価格 150,000 円)

ペン先:21金、中字、大型

蓋・胴:エボナイト材、長野創作春慶木曽塗

大先:PMMA樹脂/ブラック

本体サイズ:  $\phi$ 17×151mm、31.8g

パッケージ: 専用桐箱 (156×201×49mm)

#### 【セット内容】2種共通

万年筆本体、カートリッジインク ブラック 2 本、専用一本袋(国産)、 クリーニングクロス、万年筆使用説明書、専用商品説明書カード

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス:0120-191-167 (フリーダイヤル)

以上

《当リリースに関する問合せ先》

開発本部:03-6670-6605 木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)

不在時:開発本部 徳増(tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp) ※画像のご依頼は、木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要:セーラー万年筆株式会社(代表取締役社長 町克哉)コード番号 7992 東証スタンダード

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10 階

Tel: 03-6670-6601 URL: https://www.sailor.co.jp